小学校就学1年前のお子様の保護者の方へ

大切な予防接種のお知らせ

受けましたか？
麻しん・風しん
予防接種 MR2期



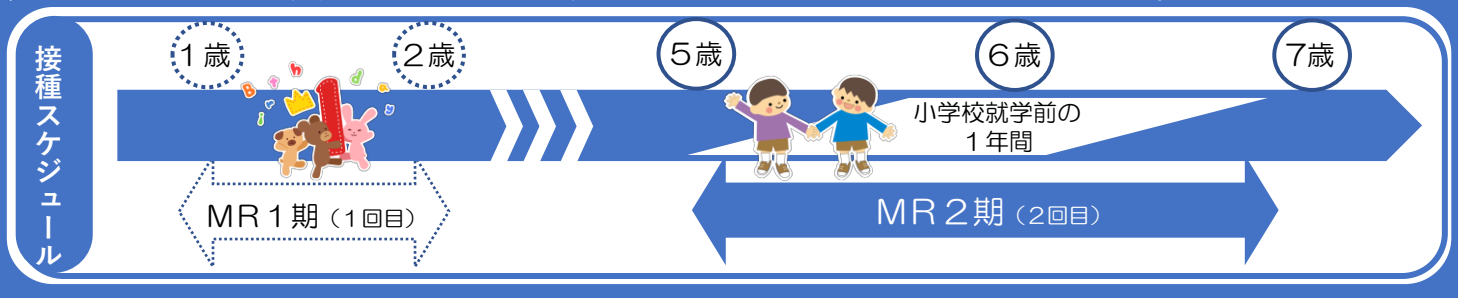
せっかく予約をしていても突然の体調不良で接種できなかった場合、
無料の接種期間を過ぎる場合があります。
できるだけ早めに接種しましょう。

対象	5歳以上7歳未満 かつ 小学校就学前1年間
接種期間	年長児の4月1日～3月31日まで
接種場所	大阪市委託医療機関
費用	無料　※但し、上記接種期間内に限る

この期間を過ぎると任意接種となり
1万円程度 の自己負担がかかります

MR2期（2回目）の接種が必要な理由

- ◆1回の接種だけでは免疫がつかなかったり、免疫が持続せずに麻しんや風しんにかかってしまうことがあります。
- ◆合計2回接種することで95%程度の子どもに、麻しんと風しんの両方の免疫がつきます。
- ◆麻しんを発症すると、特別な治療法はなく、合併症を併発して重症化することがあります。



外国人向け住民向け定期予防接種のご案内
大阪市ホームページにて、お子様の予防接種について、
英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、タガログ語でご案内しています。

ホームページは
こちら☞

令和6年度に接種の機会を逃した方へ
令和6年度においてMRワクチンの供給が不安定な状況にあったことから、
接種を受けられなかった方の接種期間を延長しています。
【延長対象者】1期：令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれの方
2期：平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの方
【接種期間】　令和7年4月1日～令和9年3月31日まで（2年間延長）

詳細な内容は
ホームページを
ご参照ください☞

お問い合わせ
各区保健福祉センター
大阪市保健所感染症対策課
（TEL06-6647-0813　FAX06-6647-0803　）

Q&A 麻しん・風しん(MR2期)コーナー

Q1 なぜ接種するの？

『麻しん』にかからないようにするため

感染力が極めて強く、免疫のない人が感染するとほぼ100%発症します。
感染して回復するまで7～10日間と長いため、身体への負担が強く、肺炎や脳炎など重症化すると入院することがある病気です。

『風しん』にかからないようにするため

麻しんに似た病気ですが、症状の強さや合併症は麻しんより軽いといわれています。
しかし、妊娠初期の妊婦がかかると先天性風しん症候群(心疾患・白内障・難聴など)のこどもが生まれる可能性が高くなります。女性だけでなく社会全体で予防した方が良い病気です。

	 発疹	 発熱	 風邪症状(咳・鼻水・目の充血等)
麻しん	全身に広がる鮮紅色の皮疹	高熱→一旦解熱→再び高熱	発熱と同時に出現
風しん	薄い紅色の米粒大の皮疹	熱が出ない場合もある	麻しんよりは軽い

Q2 MRワクチンの効果は？



麻しんと風しんの両方の免疫がつきます

麻しんと風しんをそれぞれ予防する薬が混合されているワクチンなので、2つの病気の免疫がつきます。
個人差はありますが、2回接種することで95%程度の子どもに免疫がつきます。

Q3 いつ接種する？



春～秋がおすすめ

冬場は体調を崩しやすいこと、翌年の小学校入学準備で忙しくなることを考慮して早めに予約して受けましょう。

Q4 副反応は？

一過性の症状がみられることがあります

接種直後から数日中に接種部位の発赤、はれ、しこりなどがみられることがありますが、これらは一過性で数日中には消失します。また接種後2週間以内に発熱、発疹がみられることがあります。

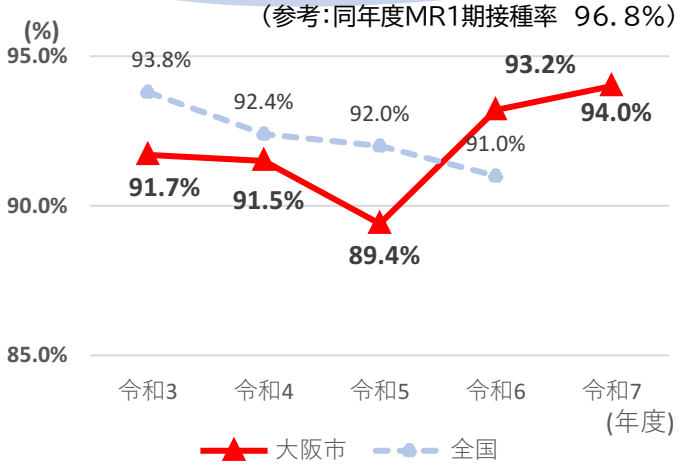
Q5 最近の流行は？

麻しんは **大阪市内でも感染者が発生**しています
風しんは **定期的に国内で流行**します

今も海外において麻しんの流行がみられており、大阪市内でも患者が複数名報告されています。
風しんも過去に数年周期で流行がみられ、近年は麻しんと同様に局所的に発生しています。
入国や海外留学時にワクチン証明を求める国もありますので今のうちに基礎免疫をしっかりとつけておきましょう。

Q6 みんな接種してるの？

大阪市の接種率
94.0%（令和7年度 MR2期）
（参考：同年度MR1期接種率 96.8%）



国は集団免疫を維持し流行を防ぐために、95%以上の接種率を目標としています。
麻しんにかかると重症化することがありますので、長期的有効な免疫を確実につけるために接種してほしいワクチンです。

発行元：大阪市保健所 感染症対策課　令和8年6月